

都農町立都農小学校の学力向上への取組

1 平成17年度の本校の学力調査結果及び意識調査結果から見た課題

(1) 学力調査結果からの課題

- 国語は「話す力・聞く力」、「読む力」、「話す力・聞く力」が十分とは言えない。
- 社会は、「社会事象についての知識・理解」が十分とは言えない。
- 算数は、県の平均を下回り、特に「数学的な考え方」や「数量や図形についての表現・処理」の力が十分身に付いていない。
- 理科は、「自然事象についての知識・理解」が十分とは言えない。
- 学級間の学力差が大きく、学級編制の方法を改善する必要がある。

(2) 意識調査結果からの課題

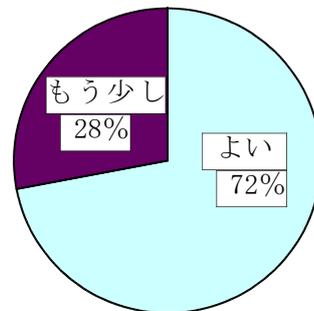
- 「学びを律する力」の中の「パソコンやインターネット」体験が十分ではない。
- 「自己責任」の中の「同じ間違いを繰り返さない」という意識が十分ではない。
- 「学習スキル」が十分身に付いていない。
- 「心の豊かさ」の中の「責任を持ってやり抜く」意識が十分ではない。
- 「学校での指導・活動」の中の「ふり返りテスト」での確認が十分ではない。

2 学力向上に向けた課題解決への具体的取組

(1) 学力向上に向けた経営方針

- 諸検査やアンケートを活用して、児童の実態を把握・分析し、重点的に指導していく内容などを明らかにし、指導計画を立案する。(資料1：家庭学習に関する実態調査結果の一部。この調査から、自主的な家庭学習の習慣形成が不十分な実態を把握できた。)
- 年間指導計画の確実な実施により十分な指導が行えるよう、授業時数を確保し、指導内容を精選して繰り返し指導を徹底する中で、基礎・基本の定着を図る。
～あまりに多くのことを教える事なかれ。しかし、教えるべきことは徹底的に教えるべし(英：ホワイトヘッド)～
- 教師の指導力を高める研修の充実を図る。主題研究や校内小・中連携対策会の中で指導方法の工夫・改善を行い、授業の充実を図り、CRTの学年の平均点が5点増加することを目指して指導に取り組んでいく。

自分から進んで家庭学習をする。



資料1

(2) 教育課程内の取組

- 日々の授業において、基礎・基本の定着を徹底する。国語、社会、算数、理科の4教科で「ふり返りテスト」を実施し、目標得点90点をすべての児童が達成するよう繰り返し指導を行う。
- 分かる授業の工夫・改善に努め、児童の実態に応じた学習プリントを作成し、授業や宿題で活用していく。ふり返りテスト等で使用する学習プリントは、学年毎の棚に整理して準備しておき、必要なとき即座に活用できるように、指導資料の整備・活用の工夫も行っていく。

(3) 教育課程外の取組

- 「読む力」の向上を図るため、毎週水曜の業前活動に「読書の森」の時間を位置付けると共に、10月を読書月間として業間の5分間読書に取り組み、読書活動を推進する。
毎月6冊以上の本を読む児童の割合が80%になることを目指して取り組んでいく。
- 読む力、書く力、話す・聞く力を高めるために、毎週木曜の業前活動に「スキルタイム」を位置付け、視写・聴写活動を行ったり、自作の進級テストを行ったりして、個に応じた指導を充実させる。
- 基礎・基本の定着を図るため、月曜の放課後に「個別指導の時間」を位置付け、個に応じたきめ細かな指導を充実させる。また、様々な時間を活用して、児童の間違いやつまづきに対し、理解できるまで繰り返し指導する。



資料2

(4) 保護者・家庭、地域との連携

- 家庭読書の日（毎週水曜）を定め、家庭での読書を推進する。また、10月を読書月間とし親子読書の取組を進め、読書力向上を図る。
業前の「読書の森」では、保護者を中心とした読み聞かせボランティアグループと連携し、月2回の読み聞かせを行い、読書に対する興味・関心を高めていく。（資料2：読み聞かせに聞き入る児童）
- 家庭学習習慣の形成を充実させるため、従来の「家庭学習の手引き」を改善の上、配付し、新たな活用を図る工夫を進めていく。通信や懇談等を通して家庭学習の重要性について啓発を図ると共に、2学期末に行う「家庭学習調査」で、すべての児童が学年の家庭学習時間の目標を達成することを目指して取り組んでいく。（資料3：家庭学習の手引き。高学年児童用。資料4：家庭学習の手引き。保護者用）



資料3



資料4

3 成果と課題（今後の取組を含む）

(1) 成果

- 学力調査結果から見た成果として、平均点では国語、算数、理科で向上が見られた。
- 意識調査結果から見た成果として、平成17年度の課題についてほぼ解決が図られている。
- 現在取り組んでいる指導方法の有効性が今回証明された形となった。

(2) 課題

- 学力調査結果から見た課題としては、社会の平均点の向上がある。更に指導方法の工夫・改善を図りたい。